

国土基盤に関する論点

1. 国土基盤の現状と課題

(1) 国土基盤を取り巻く状況の変化

- 少子高齢化、人口減少、都市の縮退、農地の荒廃、ライフスタイルの変化等。
- わが国経済の持続的発展に不可欠な中国等アジア経済との相互依存の深化。
- 気候変動等による自然災害の多発、コミュニティ衰退による共助体制の脆弱化。
- 高速交通、情報通信における技術革新の進展。

(2) 国土基盤の課題

(国土基盤整備水準のディマンドサイドとサプライサイドの調和)

- ストック量の着実な増加と維持更新負担の増大。
- 国際港湾、空港の競争力の低下と道路、鉄道等との連携。
- ビジットジャパンキャンペーン等を通じた外国人観光客の増加。
- 防災基盤の想定を超える外力による災害の頻発。
- 幹線ネットワークの形成と災害発生時の交通、情報通信サービス途絶リスクの軽減。
- 中心市街地の衰退、地域の過疎化による公共交通サービスの低下。
- デジタル・ディバイドの是正。

2. 検討事項の概要

国土の質的転換を目指して

(1) 安全・安心・安定な国土の形成

(A) 既存ストックに先導された環境にやさしく災害に強い国土基盤

既存ストックの戦略的活用、自然、景観の保全・回復

- 道路、河川、鉄道、港湾等の経済的価値が高い空間を活用した国土の高質化
- 柔軟な用途変更、ネットワーク化、集約化や複合利用の促進等による既存ストックの有効活用

- アセットマネジメント手法の適用
- 自然環境の保全・修復・再生 等
ハードとソフトの組み合わせによる防災・減災機能の向上
- 交通基盤の耐震補強、防災環境軸の整備等の地震対策、河川堤防や砂防施設、津波防波堤等の水害・土砂災害対策、維持管理の高度化等のハード施策の推進（適正防御水準の確保）
- ハザードマップの整備、防災意識の啓発等の防災・減災に資するソフト施策の推進
- 緊急・代替輸送ルートの確保、被災時の災害情報や安否情報の提供、広域的対応体制の強化による広域防災・危機管理体制の確立 等
資源循環型等環境にやさしい基盤施設の強化
- 循環資源の広域流動による効率的なリサイクルに向けたリサイクルポート、エコタウン構想等の推進
- トラックと鉄道、海運等の適切な輸送分担による環境負荷の軽減 等

(B) 新しい国土をかたちづくる交通・情報通信基盤

地域ブロックの相互交流、連携を支えるネットワーク

- 災害時のリダンダンシー確保に向けたネットワークの整備
- 高規格道路網の機能高度化に向けたミッシングリンクの改善
- 情報通信技術、超電導リニア技術等の新技術が変える国土構造 等

生活圏域の都市的サービスを支える交通・情報通信ネットワーク

- 人口減少・少子高齢化に対応したコンパクトで持続可能な都市構造を支える交通体系の整備
- 自転車や歩行者（グリーンモード）にやさしい交通環境の整備
- ユビキタスネットワークの整備 等

地域社会の自立と生活を支えるモビリティの確保

- 全国一律でない地域の選択的交通・情報通信基盤の確保
- 高齢者等交通弱者の交流手段の確保
- デジタル・ディバイドの解消 等

(2) 世界に開かれた魅力ある国土の形成

東アジアとの交流・連携を支える交通・情報通信ネットワークの形成

- 日本と東アジアの都市間のスピーディでシームレスな国際・国内一体となった物流体系の構築（貨物翌日配達圏）
 - 小型機材（リージョナルジェット等）による地方ブロックと東アジアの都市間の多頻度輸送を可能にする基盤整備（東アジア日帰り都市圏） 等
- 東アジアとの交流・連携効果を梃子とした地域の自立・活性化
- 地域が直接世界に向かって情報交流できるアジアブロードバンドの整備
 - 海外からの観光客との交流を通じた地域コミュニティの国際化とビジター産業の育成 等

国土基盤専門委員会における主要な論点

国土を取り巻く状況

少子高齢化、人口減少、農村の荒廃、ライフスタイルの変化等

アジア経済との相互依存の深化

気候変動等による自然災害の多発

高速交通、情報通信における技術革新の進展

大転換期との認識

国土基盤の課題

(国土基盤整備水準のディマンドサイドとサプライサイドの調和)

- ・公共交通サービスの低下
- ・交通モード相互間の連携
- ・わが国の国際競争力の低下
- ・デジタル・デバイドの是正
- ・維持更新負担の増大
- ・災害発生時のサービス途絶リスクの存在
- ・外国人観光客の増加への対応 等

国土の質的転換を目指す

持続可能で安全・安心・安定な国土の形成

世界に開かれた魅力ある国土の形成

交通
情報通信
基盤の整備

地域ブロック相互の交流・連携

地域ブロックと東アジアの交流・連携

生活圏域の都市的サービス

地域社会の人とコミュニティを支えるモビリティ

東アジアとの交流・連携効果を梃子とした地域の自立・活性化

防災
減災
基盤の整備

自然、景観の
保全
回復

ハードとソフトの組み合わせによる防災・減災機能の向上

既存ストックの
戦略的活用

環境にやさしい
基盤の整備

資源循環型等環境に優しい基盤施設の強化